

ふるさと納税の状況は

町長

各課と連携し返礼品を考えていく



池田 幸恵 議員



返礼品主力の野菜セット

【池田】 返礼品が高額であることや地場産品以外であることについて報道があったが。

【町長】 法律の範囲内で持続可能な取り組みをしていきたい。

【池田】 総務省の返礼品価格3割以下に抑えるよう通知が来ているが物品以外の本町に來なければメリットが發生しない株主制度、体験型や滞在型などの返礼品はどうか。

【町長】 物の充実には限界がある。そのような返礼品を増やして行きたい。

【池田】 町出身者が必要としている空き家や墓の管理、耕作放棄地など、困り事の解決を返礼品にする考えはないか。

【町長】 お互いのメリットが大きいものは、積極的に考えていきたい。

【池田】 大山の素晴らしさを伝える返礼品で産業の全体的なかさ上げ、移住定住の入り口となるような返礼品の検討を求める。

【町長】 返礼品を通して来訪者、観光客、交流人口の増加につなげていきたい。

みなさんからの陳情はこうなりました

9月定例会で審査した陳情の採択結果を報告します。

題名	提出者	付託された総務委員会の意見・結果	本会議採決結果
請願 核兵器禁止条約の日本政府の署名、批准を求める意見書採択についての請願	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会 代表 鳥取県原爆被害者協議会会長 田中 一朗 紹介議員 大森 正治	唯一の被爆国として核兵器廃絶を世界にアピールすべきであり採択すべきである。一方、条約に署名し批准することは核保有国と非保有国の対立をあり、分断と複雑化につながりかねない。日本の責務は両者の間に立ち調整すべきであるという意見もあった。 採決の結果可否同数となったため、大山町委員会条例第15条第1項の規定により不採択と決した。	不採択 採択 4 不採択 11

討論

●賛成

【大森議員】 核兵器廃絶は人類共通の願い。だからこそ、122カ国の賛成でこの条約が採択された。日本は被爆国として先頭に立ち、国に働きかけるべきである。

●反対

【近藤議員】 戦争で核兵器が使用されたのは日本だけであり、広島・長崎での悲惨な状況を伝えていくのは日本の役割。核兵器廃絶を訴えているのは日本だけで、日本の責務である。

【加藤議員】 請願の身ではなく、請願の取り扱いで、町議会の権限に属しないものは不採択とするしかない。

題名	提出者	付託された総務委員会の意見・結果	本会議採決結果
陳情 沖縄県による「辺野古沿岸埋め立て承認撤回の意志」を尊重するよう日本政府に求める意見書提出についての陳情	鳥取県西伯郡南部町福里83 沖繩と連帯するとつとりの会 共同代表 石田正義 一盛 真 伊藤英司 平良忠弘 事務局	沖縄県の基地負担は大きく、また、辺野古周辺の貴重な自然を守るべきである。 一方、基地負担は心苦しいが、県外、国外に代替地が確保できない現状において優先すべきは普天間周辺の住民の安全確保であるという意見もあった。 採決の結果可否同数となったため、大山町委員会条例第15条第1項の規定により不採択と決した。	不採択 採択 3 不採択 12